

2017年7月10日

京王沿線で日本の伝統文化を再発見！



「親子で楽しむはじめての百人一首かるた」を  
9月3日（日）に実施します！

7月20日（木）から募集開始

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）では、沿線での学びの機会を提案する「京王アカデミープログラム」の一環として、9月3日（日）に「親子で楽しむはじめての百人一首かるた」を実施します。

今回は、府中市が舞台の一つとなり漫画原作でアニメ・映画化もされた『ちはやふる』で話題となった百人一首競技かるたを体験して学ぶプログラムです。主人公の所属クラブのモデルにもなった府中白妙（しろたえ）会による競技かるたの迫力あるデモンストレーションを見た後、参加者には実際に競技かるたを体験してもらうべく、初心者向けの「源平戦」を親子対抗で実施します。

当社では、「京王アカデミープログラム」として、京王沿線地域の多様で豊かな文化資産を活用し、沿線の大学・団体などとの連携による「文化（歴史・文学・音楽・美術・自然・科学など）」・「教育」・「子育て」に関する『学びプログラム』を定期的実施しています。沿線の文化資産に触れる機会を創出するとともに、学び・成長のきっかけを提供することで、沿線での幸せな暮らしへとつなげていくことを目指します。

詳細は下記のとおりです。



《競技かるたの様子》



©末次由紀／講談社

《漫画『ちはやふる』》

## 記

1. 名 称 京王アカデミープログラム「親子で楽しむはじめての百人一首かるた」

2. 内 容 漫画『ちはやふる』に登場する舞台の一つである府中市片町文化センターで、府中白妙会 松木 隆佳氏を講師に迎え、百人一首の基礎知識から競技かるたの概要、また府中白妙会メンバーによる競技かるたの迫力あるデモンストレーションを見ていただきます。最後は実際に初心者向けの「源平戦」を親子対抗で体験していただきます。



©末次由紀/講談社

《片町文化センターがモデルとなった原作の1コマ》

3. 講 師 府中白妙会 松木 隆佳氏 ほか

4. 協 力 府中白妙会、講談社

5. 後 援 府中市

6. 開 催 日 2017年9月3日(日) 10:30~12:00(午前の部)  
13:00~14:30(午後の部)

7. 定 員 各回30組60名 ※応募者多数の場合は抽選となります。

8. 対 象 4歳から小学2年生(開催日時点)のお子様とその保護者(2人1組)

9. 参加費 1組 500円(税込)

10. 場 所 片町文化センター(京王線分倍河原駅 下車徒歩3分)

11. 募集期間 2017年7月20日(木) 11:00 ~ 8月15日(火) 17:00

12. 申込方法 京王ホームページ 京王アカデミープログラム  
([www.keio.co.jp/keioacademy/](http://www.keio.co.jp/keioacademy/))の応募フォームからお申込みください。  
※当選の方のみ、8月21日(月)頃までに当選通知メールをお送りします  
※参加費は、当日会場にてお支払いいただきます  
※お申込みいただいたお客様の個人情報、当選通知およびイベントに関する事務以外の目的で使用することはありません

13. お客様のお問い合わせ先

京王電鉄広報部 京王アカデミープログラム担当

TEL. 042-337-3250(平日10:00~18:00)

以 上

### 【参 考①】府中白妙会について

昭和63年から前会長の前田 秀彦氏を中心に、分倍河原駅周辺の公共施設等を利用して、競技かるたの練習をするようになる。府中市近隣の練習仲間を中心に集まり、平成2年に府中白妙会を設立。『ちはやふる』の効果もあり、現在の会員数は100名を超えている。活動内容は毎週火曜日と木曜日の17時30分から22時まで、毎週土曜日13時から17時までと17時30分から22時まで、その他日曜日や祝日にも随時練習を行っている。

### 【参 考②】源平戦について

2チームでの対抗戦。取札を50枚ずつに分けて持ち札にし、3列で自分に向けて並べます。読み手は、読み札を上句から読み始めます。競技者は読まれた札を取ります。自陣の札を取った場合には、そのまま自分の札とし、相手の陣地札を取った場合には、自陣の札を1枚選んで相手に渡します。自陣、敵陣を問わず、間違っただけで手を触れた場合（お手つき）には、相手からペナルティとして1枚札を受け取らなくてはなりません。先に自陣の札がなくなったほうのチームの勝ちです。

### 【参 考③】講師プロフィール

府中白妙会：松木 隆佳（まつき たかよし）氏

高校生よりかるたを始め、大学進学時、平成11年に府中白妙会に入会。A級で五段。全国大会A級で入賞の実績を持つ。

### 【参 考④】『ちはやふる』について

まだ“情熱”という言葉さえ知らない、小学校6年生の千早。そんな彼女が出会ったのは、福井からやってきた転校生・新。大人しくて無口な新だったが、彼には意外な特技があった。それは、小倉百人一首競技かるた。千早は、誰よりも速く誰よりも夢中に札を払う新の姿に衝撃を受ける。しかし、そんな新を釘付けにしたのは千早のずば抜けた「才能」だった……。まぶしいほどに一途な思いが交差する青春ストーリー！！



発行：講談社

《漫画『ちはやふる』34巻》